



生駒らしいスマートシティ像を描くための対話をスタート

奈良県初！参加型合意形成プラットフォーム「Liqlid」の活用による対話の場づくりも実証実験

生駒市は、今年4月から新たにスマートシティ推進室を新設し、ICT等の技術やデータの活用によって多様な生き方や暮らし方を実現する「スマートシティ」の構築に向けた取組を開始しています。

生駒らしい「スマートシティ」の構築に向け、取組の基本となる「生駒市スマートシティ構想」を策定します。市民や事業者の皆さんが思い描く生き方や暮らしを話し、考えることで、期待感や地域課題を把握し、実現に向けた施策立案するためにオンラインワークショップを実施します。

■ オンラインワークショップの概要

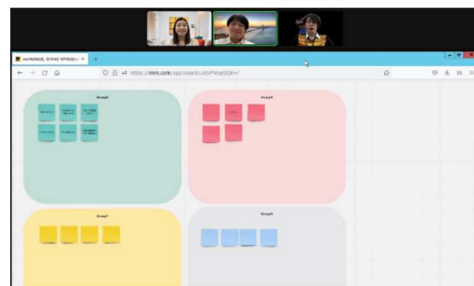
一人ひとりが実現したい生き方や暮らしのシーンを描き、将来における「ありたい姿」を対話します。

1 自分とまちの野望をふくらませるワークショップ

- ・日時 令和4年10月5日（水）18:30-21:00
10月22日（土）9:30-12:00

※両日、同内容になります。

- ・対象 市民、生駒に興味のある人等
- ・定員 30人
- ・申込み 開催日の2日前までに市ホームページの申込フォームから



2 実現に向けたアイデアをふくらませるワークショップ(仮)

- ・日時 令和4年12月7日（水）18:30-21:00
- ・対象 市民、生駒に興味のある人、事業者等

■ 奈良県初！参加型合意形成プラットフォーム「Liqlid」を活用した対話の場づくりも実証実験

ワークショップと並行して、より多様な人の意見を聞き、対話を促すことを目的にオンラインの参加型合意形成プラットフォーム「Liqlid」（リクリッド）を活用した実証実験を行います。

10月5日からサイトを公開し、上記3回のワークショップの内容やプロセスを共有しながら、ワークショップに参加できなかった方も参加して、テーマを絞って対話を深めたり、意見が分かれたものを広く問いかけたりすることで、場所や時間に制約されずにより多様な年代・立場の方が政策作りに参画するにはどんな仕組みが必要かも検討します。

※「Liqlid」は、株式会社Liquitous（本社：神奈川県横浜市、代表取締役CEO：栗本拓幸）が開発したオンライン上のプラットフォームです。生駒市協創対話窓口を通じて提案があったため、今回の実証実験にいたしました。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市デジタル推進課スマートシティ推進室（室長 立田） ☎0743-74-1111（内線 2860）